

2. 令和4年度 改善意見への対応状況(中間報告)

令和4年度改善意見(令和4年7月14日)	実施状況(中間報告)
<p data-bbox="188 427 994 507">(1) 鉄道助成業務での IT の活用による効率化の一層の推進</p> <p data-bbox="228 558 994 896">鉄道助成業務においては、遂行方法の効率化を図り、より効率的な補助金の審査業務を推進するため、近年のデジタル機器の普及に伴いこれを可能な限り活用すべく、補助金の審査業務(事後審査等)でも対面方式を前提としつつも、WEB方式を併用するハイブリッド型をより一層活用されたい。その際、業務遂行方法に関する新たな技術開発については、効果を見極めたうえで鋭意対応されたい。</p>	<p data-bbox="1048 555 2136 849">鉄道施設総合安全対策事業費補助(踏切保安設備整備)のように簡易で標準化されたような事業(工事)であって、かつ補助金審査(現地審査)が集中し始める12月頃までに工事契約がなされたものを対象に、WEB会議システムを活用することによって補助金審査(現地審査)の前に補助事業者から工事概要等の説明を受け、現地で確認すべき事項を予め整理(問題点の把握等)することにより、補助金審査の効率的かつ効果的な実施します(補助金審査のハイブリッド化を進めます。)</p> <p data-bbox="1048 858 2136 938">なお、今後もITの動向に注視し、鉄道助成業務での効果を見極めたうえで鋭意対応いたします。</p>